

車のメンテナンス

Car Maintenance

自動車保険

アメリカのほとんどの州では、車を登録、運転する場合には日本という自賠責保険にあたる強制保険 (Liability Insurance) に加入することが義務付けられている。強制保険の種類は以下の通り。

※以下はあくまでも最低額であり、十分なものではないので注意。他州では傷害や損害などカバーされない場合もある。

●対人賠償責任保険

Body Injury Liability

自分の過失で相手に損傷を与えた場合に適用

●対物賠償責任保険

Property Damage Liability

自分の過失で相手に物的損害を与えた場合に適用

●個人傷害医療保険

Personal Injury Insurance

事故で傷害を受け、治療費が必要な場合に適用

●対無保険者保険

Uninsured Motorists Protection

自分が損害を受け、相手方に賠償能力がない場合に適用

そのほか任意保険として、衝突、火事、盗難、牽引保険などがある (P.37「損害保険事情」参照)。

保険料の算定

保険料は個人によって異なる。以下は保険料の算定基準。

- 年齢 (若くなるほど高い)
- 配偶者の有無 (未婚だとやや高い)
- 居住地 (事故・盗難発生率の高い地区に住んでいると割高)
- 車種 (年式、型、色によっても違う)
- 運転歴 (アメリカでの運転歴のみ)
- 事故・交通違反歴 (保険料にいちばん大きく影響する。違反があまりにも多いと加入を拒否されることもある)

保険料は会社によっても異なるため、あらかじめいくつかの保険代理店にあたってみるとよい。また保険は毎年、自動的に更新されるため、解約しない限り永久に請求書が送られてくる。帰国などの際には忘れずに解約すること。

車両登録

新車・中古車ともディーラーから購入した場合、登録 (Registration) はディーラーがしてくれる。個人売買の場合は自分でする。各州陸運局、または公安局の問い合わせ先はP.39「運転免許」参照のこと。

Ohio

初めて車を登録する場合は、必要書類を揃えて本人が地域のDeputy Registrar's Officeに行き手続きをする。また、登録の際には地域別のレートにより課税された税金を支払う。過去に登録済みの車は、郵送やオンラインwww.oplates.comでの更新が可能となっている。地域のDeputy Registrar's Officeはwww.bmv.ohio.gov/cnty_1st.htmで検索可能。なお、Cuyahoga、Geauga、Green、Lake、Lorain、Medina、Portage、Summitの8つのカウンティでは、登録、更新の際にE-Checkと呼ばれる排ガス規制のテスト結果が必要となる。E-Checkステーションの場所はwww.epa.ohio.govで検索可能。

●E-Checkの問い合わせ
Tel (800) CAR-TEST (227-8378)

<必要書類>

- 車両権利書 (タイトル)
- 運転免許証
- ソーシャル・セキュリティ・ナンバー
- E-Checkのテスト結果 (必要なカウンティのみ)



Indiana

手続きは最寄りのLicense Branchに本人が出向いて行う。ロケーションはwww.in.gov/bmv/3009.htmで検索可能。他州から転居した場合は、60日間以内に登録を済ませることが義務付けられている。過去に登録済みの車は、オンラインwww.in.gov/4505.htmで更新が可能。Lake、Porterの各カウンティでは排ガ

ス規制のテストが必要。テストステーションの場所は、www.cleanaircarcheck.comに掲載されている。

登録、およびライセンスプレートは1年間有効。ディーラーなどによる月末の更新ラッシュを緩和するために、更新はラストネームの最初のアルファベットにより、時期が指定されるwww.in.gov/bmv/3223.html。車両税や必要書類など、詳細はカウンティにより異なるため、管轄のカウンティに直接問い合わせを。

<必要書類>

- 車両権利書 (タイトル)
- 運転免許証
- 車両保険証
- ソーシャル・セキュリティ・ナンバー
- 排ガス規制テスト結果 (必要なカウンティのみ)



Kentucky

手続きは最寄りのCounty Clerkのオフィスに本人が出向いて行う。所在地はwww.mvl.ky.gov/MVLWeb/LSServletで検索可能。登録には車両の保険証が必要。オンラインで更新する場合は住所変更がなく、保険はケンタッキー州で認められた保険会社のもので契約後45日を経過したものでなければならない。また、新規登録には居住地地域のSheriff's Officeから発行される車検証も必要となる。



<必要書類>

- 車両権利書 (タイトル)
- 運転免許証
- 車両検査証 (新規登録時)
- 車両保険証

事故を起こした場合

自動車事故が引き起こす物理的、精神的なダメージは大きい。日本でさえ冷静に対処するのは非常に難しいのに、ましてや言葉も習慣も違う土地では至難の業である。万一のときに備えて、日頃から事故後の対策として次のことを覚えておくとよい。

- 同乗者・相手側にけが人がいるか確認する
- 車が動く場合は、交通の邪魔にならないように道路脇に車を寄せる
- 小規模な衝突などの物的破損のみの場合は、事故の当事者同士で住所、氏名、電話番号、免許証番号、登録証の内容、保険のポリシー番号、ナンバープレートの番号を交換する。同時に保険会社にも連絡する

死者・けが人が出た場合は警察 (911) に電話し、警察官の指示にしたがう。同時に保険会社にも連絡する。このとき日時、場所、道路状況、破損状態とともに、立ち会った警察官の名前とバッジの番号もメモしておくことよい。目撃者が付近にいた場合も、念のため氏名、電話番号を聞いておくこと。

車の盗難と予防法

車が盗難にあったら、すぐに発現場を管轄する警察署に届け出て、被害届け出番号 (Case Number) をもらう。その際、レッカー移動された可能性もあるので確認する。盗難の場合は保険会社にも忘れずに連絡をする。

盗難を防ぐためには、日頃から以下の点に注意しておく。

- 明るい場所、人通りの多い場所に駐車する
- 窓をきちんと閉めて鍵をかけたか確認する
- 盗難防止のアラーム、ハンドルロックを設置する
- バッグ、買い物袋などは車内に残したままにしない。どうしても車内に置き去りにしなければならないときは、トランクなどの見えない場所に入れておく。ただしトランクに入れているところを目撃されたまま車から離れてしまうのは、車内の見える場所に荷物を置いているのと同じこと。荷物をトランクに入れた場所とは別の場所に駐車する
- カーステレオは取り外し式のを装備する
- 車庫に入れる場合は車とシャッター両方の鍵をかける
- 可能であれば自分から見えるところに駐車する

警察官に止められた場合

①とにかく慌てない。路肩に車を寄せて、車から出ずに警察官がこちらに来るのを待つ。夜、暗い場所にいる場合は車内灯を点ける。こうしておく警察官は車内に危険がないかどうかをすぐ確認することができる。

②手をハンドルの10時10分の位置に置くか、警察官に見えるところに置く。ポケットに手をつっ込んだり、ダッシュボードを探すなどの行動に出ると、武器を探していると誤解されるため危険。警察官に免許証と保険証を出すように指示された場合のみ提示する。

③実際に違反をした場合、それを認め過ちを犯したことを供述すること。その後で情状酌量や警告処分してもらおう頼んでみることもできる。しかし、素人弁護士気取りで振る舞ったり、警察官が間違っていると決めつけたりしてはいけない。こうした行為は、警察官の職務能力を侮辱するものである。警察官の気分を害すると、挙げられるだけの違反を記録されてしまうこともあるので要注意。

④もし、過失が作られたものであると確信する場合は裁判所に訴えること。

トリプル A

AAA (American Automobile Association)

AAAは24時間体制でサービスを行う、いわば日本のJAF (日本自動車連盟) に相

当する機関である。AAAの会員になると、車の故障や事故などの緊急時に電話1本で助けに来てくれるサービスを無料または格安で受けることができる。そのほか、全米各地の支所にはロードマップやホテル・レストランガイドなど旅行に必要な情報が用意されており、会員にはレンタカー、ホテルなどの割引サービスも提供している。

オハイオ州ではベーシック会員が49ドル、プラス会員が79ドル。プラス会員はサービス範囲、特典が増える。インディアナ州での年会費は初年度が69ドル、2年目からの更新は年59ドルになる。会員の家族は35ドルで入会できる。ケンタッキー州ではクラシック会員が60ドル、プラス会員が97ドル。

●入会についての問い合わせ
Tel (800) JOIN-AAA (564-6222)
(全米共通)
オンラインでの入会も可能。

○オハイオ州
www.aaaohio.com/Join/index.aspx
○インディアナ州
www.hoosieraaa.com/NewMembership/NewMembershipStartPage.aspx
○ケンタッキー州
www.discover.aaa.com

●緊急時の連絡先
Tel (800) AAA-HELP (222-4357)
24hrs (アメリカ、カナダから)

アメリカのガソリンスタンド

フルサービスが主流の日本とは違い、アメリカでの給油サービスは、フルサービスとセルフサービスとに分かれている。セルフサービスの場合、ガソリンを入れる前に売店のレジに行き、自分が使うステーションの番号を店員に告げ、料金を先払いする。もしくは、ガソリンを入れた後に売店のレジに行き、自分の使ったステーションの番号を告げるだけで自動的に料金を計算してくれる。

支払い方法は現金、クレジットカード、各ガソリン会社専用のカードなどがある。この専用カードまたはパスは、その場でスムーズに支払いが行えるほか、売店などでも使え、クレジットカードに直接支払い請求がくるので、忙しい人には利用価値大といえる。釣り銭やレシートが必要なときは、給油後にレジでもらう。また、ステーションによっては、クレジットカードもしくはデビットカード決済機能が付いているものもあり、この場合はレジに行く必要はない。

ガソリンは無鉛ガソリン (Regular)、無鉛ハイオクタンガソリン (Super Unleaded)、ディーゼルエンジン用ガソリン (Diesel) の3種類が一般的だが、アメリカと日本では検査基準が違うため、日本のレギュラーにあたるものがこちらのハイオクタンと同質程度と考えた方がよい。

